

環境保全活動の目標と実績、環境負荷の全体像

荒川化学グループでは環境負荷低減に向けた目標を掲げ、継続的な活動を行っています。

環境保全活動の目標と実績

荒川化学グループでは、地球にやさしい企業を目指して環境負荷削減の活動を行っています。単年度目標と2012年度中期目標を立てて活動しています。

2008年度は生産量が大幅に減少した結果、環境負荷物質の絶対量は減少し、原単位は逆に悪化しました。

2009年度は従来の削減活動を継続しますが、CO₂排出量の削減およびゼロエミッションに向けた活動を強化していきます。

環境経営度の評価

日本経済新聞社は、毎年企業の「環境経営度調査」の結果を発表しており、第12回目の調査は、2008年9月に実施されました。その結果、荒川化学は回答があった製造業510社中128位の評価をいただきました。なお、第11回の結果は製造業520社中190位でした。これらの結果を今後の環境活動に反映させていただきます。

評価基準:◎目標以上達成 ○ほぼ目標通り達成 ×目標未達 ××目標大幅未達

重点テーマ	2008年度荒川化学グループの環境保全活動				2009年度目標	2012年度目標
	目標	実績	評価	関連頁		
環境マネジメントシステムの確立と維持	ISO14001認証取得4工場、ヘルノックス維持審査合格、高圧化学エコアクション21認証取得	ISO14001認証取得4工場、ヘルノックス維持審査合格、高圧化学エコアクション21認証取得	○	P8	ISO14001、エコアクション21取得事業所の維持審査合格	全事業所の環境マネジメントシステムの構築
環境会計の実施	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	○	P10	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	環境会計の継続、環境経営へのアドバイス
省エネルギーの推進	エネルギー原単位を2007年度比1%削減	エネルギー原単位を2007年度比5.1%増加	××	P13	エネルギー原単位を2007年度比2%削減	エネルギー原単位を2007年度比5%削減
CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を2007年度比1%削減	CO ₂ 排出量を2007年度比8.2%削減	◎	P13	CO ₂ 排出量を2007年度比2%削減	CO ₂ 排出量を2007年度比5%削減
産業廃棄物の削減	最終埋立率=(最終埋立量/発生量)×100 3%以下	最終埋立率 4.2%	×	P15	最終埋立率 3%以下	最終埋立率 1%以下
化学物質の適正管理	PRTR対象物質の排出・移動量届出	PRTR対象物質の排出・移動量届出	○	P16	PRTR対象物質の排出・移動量届出	PRTR対象物質の排出・移動量届出
	PRTR対象物質の排出量を2007年度比1%削減	PRTR対象物質の排出量を2007年度比11.0%削減	○		PRTR対象物質の排出量を2007年度比2%削減	PRTR対象物質の排出量を2007年度比5%削減
	PRTR対象物質の移動量を2007年度比1%削減	PRTR対象物質の移動量を2007年度比12.0%削減	○		PRTR対象物質の移動量を2007年度比2%削減	PRTR対象物質の移動量を2007年度比5%削減
環境教育の実施	環境教育の実施	環境教育1,315時間実施	○	P25	環境教育の実施	環境教育の充実
環境・社会報告書発行	2008年8月に冊子発行	2008年8月に冊子発行	○		2009年8月に冊子発行	発行の継続、内容充実

環境負荷の全体像

